

vol.26

## 奈良市 協働のQ&amp;A

各事業を実施する際には、予算や財源といったものが関わってきます。協働で事業を行う場合、その協働相手への金銭的な支援は必要でしょうか。また、お互いの負担割合はどのようにすればいいのでしょうか。4問続けてご紹介します。

Q45

協働を継続するモチベーションを維持する秘訣は？

A45

事業を長く続けていると、だんだん事業の目的が曖昧になってしまったりして、モチベーションが下がってしまうこともあるんだ。そうならないためには、常に協働で行っている事業の進捗管理を行っていくことが効果的だよ。進捗管理を行うことで、めざす目的を見失わず、事業の必要性について意識を保つことができるんだ。だから、協働による事業の計画を立てた後は、常に計画を確認しながら事業を進めていこうね。

協働の相手のモチベーションを維持するために、事業や協働の手段を工夫し、やりがいや楽しさを感じてもらうことも効果的だよ！行政だけがまちづくりを行うのではなく、協働の相手にも、自らがまちづくりの主人公であるという意識を持ってもらうことができれば、相手のモチベーションも高まるよ！

Q46

ボランティア活動は無償というイメージだけど、協働するときは経済的支援はいらないの？

A46

実施する事業によっては、人件費等の諸経費が必要になってくることもあるよ。協働で事業を行う際には、市がどの程度負担するかについて協議して、市が担う役割と、協働の相手が担う役割を明確にしたうえで、市が支出する必要があると判断した経費については市の予算に計上して支出するんだ。支出科目としては、協働の形態や内容にもよるけど、消耗品費、保険料、業務委託する場合の委託料や指定管理者への指定管理料などが想定されるよ。

また、財政的な支援だけではなく、場合によってはモノによる支援や、人材の確保など、様々な支援の方法があるんだよ。



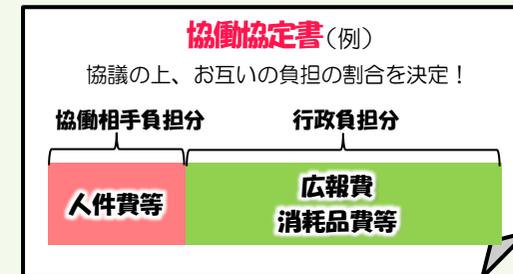
いろいろな方法が考えられるね！

Q47

協働する相手とのお金の負担の割合ってどうなるの？

A47

お金については、市が100パーセント負担する場合や、協働の相手が100パーセント負担する場合、そして協議のうえで負担を分ける場合など、事業によって様々だよ。市が担う役割と団体が担う役割を明確にしたうえで、それぞれの負担割合を協定書などにおいて決定し、事業の予算に計上しよう！



Q48

事業計画を予算どおり実行できるかな？

A48

市と協定や契約を締結したものであれば、原則的に必ず実行していただく必要があるよ。計画を予算通り実行するためにも、企画段階から市と協働の相手がしっかりと協議を行い、より実効性のある事業計画に練り上げることが大切なんだ。

NEXT!

Q49 予算が複数年度にわたる場合、どうすればいいの？

協働事業を実施する場合、複数年度の予算ってたてることのできるのかなあ…。

協働するときのお金や労力の割り振りは、事業の内容や協働の手法によって様々なんだね！協議することが大事なんだなあ。